

2. 指標設定

成果指標	指標名	男女が平等と思える満足度	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	30%			県の参画プランの数値目標を参考とした。市総合計画/後期基本計画において、基本施策(6-2-2)では、男女共同参画社会の実現としており、数値として5年おきの意識調査により「男女が平等と思える満足度」について把握できる				
活動指標	指標	a 男女共同参画の周知度	b 固定的役割分担意識の解消	c 審議会等への女性の登用率	d 啓発講座の数				
	数値	目標 100%	目標 65%	目標 50%	目標 30回				

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
男女が平等と思える満足度		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 男女共同参画の周知度		—	—	—
b 固定的役割分担意識の解消		—	—	—
c 審議会等への女性の登用率	%	26.1 %	27.9 %	26.2 %
		52.2 %	55.8 %	52.4 %
d 啓発講座の数	回	27 回	40 回	26 回
		90.0 %	133.0 %	86.7 %

4. 課題と対応

課題
女性の登用率が伸びない。女性の社会参画を推進するための環境整備、男女の意識改革、企業や事業所への啓発。
対応（改善点等）
男女共同参画基本計画に則り、計画的な事業展開を行う。事業実施にあたっては、第2期プランの内容を勘案し、行政経費が増加しないよう取り組む。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

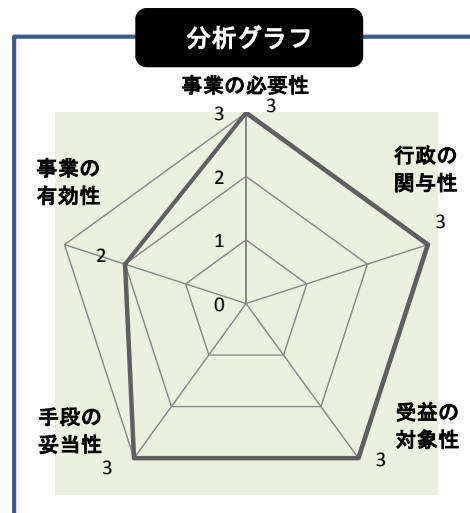
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		12,809	3,849	798	805
		918	718	798	805
財源内訳	国費				
	県費	11,741			
	市債				
	その他	150			
	一般財源	918	3,849	798	805
うち経常		918	718	798	805
事業費に係る人件費		8,600	8,588	8,718	8,871
事業費に係る人役		2.00	2.00	2.00	2.00

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
男女共同参画を推進する事業等を展開するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 少子高齢化社会の中で、女性の参画の必要性、市民協働による男女共同参画の推進と自主的地域づくり活動への期待。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 男女共同参画社会基本法での位置づけ。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 さまざまな対象者向けに事業を展開している。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 依然として男女平等意識が低い。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	全庁的な取組による施策を推進すること。